

茨城県衛生研究所
令和3年度評価書

令和4年10月
茨城県衛生研究所
評価委員会

【様式6】

□総合評価

評価: A(3.3)	試験研究機関に期待される役割や目標等に照らし合わせ、質・量の両面において着実に取組みを実施していると判断できる。
新型コロナウイルスへの対応が求められる中、ゲノム解析によるクラスター事例の把握や県民への感染症情報の提供を積極的に行ったことが評価できる。また、継続するコロナ禍のなかでも中期運営計画に基づき、各種試験検査の実施、外部および内部に対しての人材育成、他機関との連携を進め、十分な取り組み状況と成果が示されたことは、所員の努力のもとにマネジメントが適切に行われたことの表れと考える。新型コロナウイルス以外の種々の感染症の疫学調査も継続されたことは高い評価に値する。	
一方、現状のレベルを維持・向上させていくためには、中核となる人材の育成が必要であるが、人的余裕がないと困難なため引き続き人員確保に努力してほしい。人材育成には、オンラインによる研修会の開催や参加、内部の勉強会等を活用するとともに、博士号取得を含めた継続的な体制を維持し、また特に若手が更に研究業績を積み活躍できるようなご指導を期待したい。	

□項目別評価

i) 県民に対して提供する業務

1) 調査研究

評価: A

茨城県における薬剤耐性菌の分子疫学解析に関する調査研究
県内の無症状患者の存在、無症状患者も含めてCREの菌種の実態とCPE陽性率等の件における実態の一部が明らかになった。コロナ禍で医療機関からの株が集まりにくい中、丁寧にデータを分析していた点が評価できる。プラスミド性のカルバペネマーゼ3種類が検出されており、これらの動向を知るために継続の必要性が高い。
今後は、協力医療機関を増やしより多くの検体数を集めること、臨床所見とあわせたデータベースの作成が望まれる。研究内容は十分であるが、カルバペネマーゼ非産生菌に対するゲノム解析を行うべきと考える。また、ESBLに関する研究も必要と思われる。

2) 試験検査

評価: A

感染症法に基づき、変異株解析も含めた新型コロナウイルス感染症に対する遺伝子検査を不休体制で確実かつ迅速に行いながら、一連の計画検査、試験検査も適切に対応しており評価できる。新たに設けられた「感染症及び食中毒事例の分子疫学解析」の項目の依頼にも対応しており、衛生研究所に求められる役割を十分果たした。

3) 研究成果等の活用促進

評価: A

新型コロナウイルスの検査に対応しながらも、学会発表や論文投稿に努力され、海外一流誌に研究成果を公表するなど積極的に成果の普及促進に務めた。また、調査研究で修得した技術(全ゲノム解析に関する技術)を新型コロナウイルス対策に活用した。
一方、発表が特定の職員に偏っている印象を受けるので、多様な、特に若手職員による業績を期待したい。

4) 広報・情報発信・普及啓発

評価: AA

多忙な中、感染症情報センターでは、感染症発生動向調査事業に基づく感染症情報を定期的にホームページに掲載し、県民への注意喚起に務めた。アクセス数(3000~8000/月)や相談数の多さは、ホームページ等を介した健康情報提供がうまく機能していることを示している。活用の仕方を工夫するとさらに良い。Webを利用して出前講座や研修会の活動を維持・改善したことは評価に値する。

5) 外部人材育成、教育活動

評価: A

当初の計画より件数や受け入れ人数が減少しているが、検査業務を抱えながら、他の行政機関職員等への知識・技術の啓発等を数多く行っており高く評価できる。学生や研修医への教育活動にも務めた。
コロナ禍での外部人材の育成は難しかったと思うが、来年度はより積極的に研修会の開催に努めてほしい。

ii) 業務の質的向上, 効率化のために実施する方策

1) 全体マネジメント

評価: A

特別電源所在県科学技術振興事業補助金を活用した検査機器の整備をはじめ、機器設備の管理、安全管理、人材確保及び進捗状況の情報共有等が為され、検査体制の維持・強化が適切に行われた。
一方、人的資源超え、業務過多にならないよう留意すべきと思われる。

2) 他機関との連携、調査研究費の獲得

評価: AA

国立試験研究機関や大学に加え、県内研究機関及び他県の衛生研究所と密接に連携し、高度かつ先駆的な共同研究や研究協力を進めたほか、調査研究費として外部資金を新たに獲得したことは高く評価できる。
茨城県には多くの研究機関があるため、そちらとの連携も今後検討してはどうか。

3) 県民ニーズの把握

評価: A

関係機関等との意見交換、Webの利用を含めた出前講座の開催及び医師向けのアンケートにより県民ニーズの把握に務めた。
来年度はオンラインによるアンケート調査等により広く県民ニーズの把握に努めてほしい。

4) 内部人材育成

評価: AA

外部講師を招いての講習会、実務研修、各種精度管理事業への積極的参加、倫理研修、業績発表会等により内部人材育成に力を入れている。今後は育成人材の活用が課題になると思われる。
異動に伴う研究員の入れ替え等に対し、十分に対応しているが、継続して高い検査精度を保持していくには経験年数のある職員が必要である。最低でも5年、できれば10年程経験できる環境整備ができるとうい。

評価項目 (年度実施計画)	衛生研究所の自己評価		評価委員会評価																																																																																																															
	評価	計画達成の状況	評価	評価における特記事項																																																																																																														
i) 県民に対して提供する業務	1) 調査研究	AA ○質・量の両面において目標を超えた優れたパフォーマンスを実現 ・茨城県における薬剤耐性菌の分子疫学解析に関する試験研究 平成31年1月から令和3年12月までの3年間で、行政検査株として144株、県内協力医療機関から提出された株として83株、計227株のGREを収集・解析した。菌株解析の結果、227株中15株(6.6%)からカルバペネマーゼ遺伝子が検出された。シーケンス解析の結果、検出遺伝子型はIMP-1(11株)、IMP-6(2株)、NDM-5(2株)であることが判明した。 結果について、いばらき予防医学プラザ業績発表会、当所ホームページ上の年報、茨城県薬剤耐性推進会議および研究協力医療機関に報告した。また、研究期間を延長するため、特別電源所在県科学技術振興事業の研究費を獲得した。	A	○質・量の両面において概ね令和3年度計画を達成																																																																																																														
	2) 試験検査	A ○質・量の両面において概ね令和3年度計画を達成 試験検査の内容 ○ 計画検査 ・茨城県食品衛生監視指導計画 ・県内流通医薬品試験検査実施要領 ・家庭用品試買試験検査実施要領 ・病原性微生物等実態調査要領 等 <table border="1" data-bbox="379 622 1139 1151"> <thead> <tr> <th>試験項目</th> <th>件数 (R3年度実績)</th> <th>衛生研究所 担当部</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>食肉の試験検査</td><td>依頼なし</td><td>細菌部</td></tr> <tr><td>農産物漬物の試験検査</td><td>依頼なし</td><td>細菌部</td></tr> <tr><td>輸入食品の試験検査</td><td>依頼なし</td><td>細菌部</td></tr> <tr><td>夏期及び年末食品一斉取締りに係る食品の試験検査</td><td>81</td><td>理化学部</td></tr> <tr><td>認定小規模食鳥処理場微生物検査</td><td>74</td><td>細菌部</td></tr> <tr><td>県内産魚介類の寄生虫検査</td><td>依頼なし</td><td>細菌部</td></tr> <tr><td>水道水質調査事業に伴う試験検査</td><td>10</td><td>細菌部</td></tr> <tr><td>感染症流行予測調査事業に伴う試験検査</td><td>674</td><td>ウイルス部</td></tr> <tr><td>蚊の生息状況調査</td><td>依頼なし</td><td>ウイルス部</td></tr> <tr><td>二枚貝中のノロウイルスの試験検査</td><td>依頼なし</td><td>ウイルス部</td></tr> <tr><td>県内流通医薬品等の試験検査</td><td>45</td><td>理化学部</td></tr> <tr><td>後発医薬品の試験検査</td><td>11</td><td>理化学部</td></tr> <tr><td>医療機器の試験検査</td><td>1</td><td>細菌部</td></tr> <tr><td>無承認無許可医薬品の試験検査</td><td>1</td><td>理化学部</td></tr> <tr><td>家庭用品の試買試験検査</td><td>依頼なし</td><td>理化学部</td></tr> <tr><td>指定薬物等の試験検査</td><td>150</td><td>理化学部</td></tr> <tr><td>食品の残留農薬試験検査</td><td>依頼なし</td><td>理化学部</td></tr> <tr><td>遺伝子組換え食品の試験検査</td><td>依頼なし</td><td>理化学部</td></tr> <tr><td>加工食品の放射性物質試験検査</td><td>依頼なし</td><td>理化学部</td></tr> <tr><td>イワンシ肉の放射性物質試験検査</td><td>依頼なし</td><td>理化学部</td></tr> <tr><td>水道水の放射性物質試験検査</td><td>87</td><td>理化学部</td></tr> </tbody> </table> ○ 行政依頼検査 ・茨城県感染症発生動向調査事業実施要領 ・茨城県結核予防計画 ・茨城県食中毒事故処理要領 等 <table border="1" data-bbox="379 1263 1139 1590"> <thead> <tr> <th>試験項目</th> <th>件数 (R2年度実績)</th> <th>衛生研究所 担当部</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>感染症法に基づく届出に伴う疾患の試験検査</td><td>50</td><td>細菌部</td></tr> <tr><td>感染症の発生の状況及び動向の把握に伴う試験検査</td><td>12,433</td><td>ウイルス部</td></tr> <tr><td>感染症の発生予防及びまん延防止に伴う試験検査</td><td>71</td><td>ウイルス部</td></tr> <tr><td>感染症の発生予防及びまん延防止に伴う試験検査</td><td>689</td><td>細菌部</td></tr> <tr><td>感染症及び食中毒事例の分子疫学解析</td><td>418</td><td>ウイルス部</td></tr> <tr><td>結核対策予防事業に伴う試験検査</td><td>98</td><td>細菌部</td></tr> <tr><td>レジオネラ病防止に伴う試験検査</td><td>3,113</td><td>ウイルス部</td></tr> <tr><td>犬の狂犬病検査</td><td>67</td><td>細菌部</td></tr> <tr><td>化学物質に係る試験検査</td><td>47</td><td>細菌部</td></tr> <tr><td>食中毒及び苦情食品に伴う試験検査</td><td>5</td><td>ウイルス部</td></tr> <tr><td></td><td>依頼なし</td><td>理化学部</td></tr> <tr><td></td><td>497</td><td>細菌部</td></tr> <tr><td></td><td>332</td><td>ウイルス部</td></tr> <tr><td></td><td>依頼なし</td><td>理化学部</td></tr> </tbody> </table>	試験項目	件数 (R3年度実績)	衛生研究所 担当部	食肉の試験検査	依頼なし	細菌部	農産物漬物の試験検査	依頼なし	細菌部	輸入食品の試験検査	依頼なし	細菌部	夏期及び年末食品一斉取締りに係る食品の試験検査	81	理化学部	認定小規模食鳥処理場微生物検査	74	細菌部	県内産魚介類の寄生虫検査	依頼なし	細菌部	水道水質調査事業に伴う試験検査	10	細菌部	感染症流行予測調査事業に伴う試験検査	674	ウイルス部	蚊の生息状況調査	依頼なし	ウイルス部	二枚貝中のノロウイルスの試験検査	依頼なし	ウイルス部	県内流通医薬品等の試験検査	45	理化学部	後発医薬品の試験検査	11	理化学部	医療機器の試験検査	1	細菌部	無承認無許可医薬品の試験検査	1	理化学部	家庭用品の試買試験検査	依頼なし	理化学部	指定薬物等の試験検査	150	理化学部	食品の残留農薬試験検査	依頼なし	理化学部	遺伝子組換え食品の試験検査	依頼なし	理化学部	加工食品の放射性物質試験検査	依頼なし	理化学部	イワンシ肉の放射性物質試験検査	依頼なし	理化学部	水道水の放射性物質試験検査	87	理化学部	試験項目	件数 (R2年度実績)	衛生研究所 担当部	感染症法に基づく届出に伴う疾患の試験検査	50	細菌部	感染症の発生の状況及び動向の把握に伴う試験検査	12,433	ウイルス部	感染症の発生予防及びまん延防止に伴う試験検査	71	ウイルス部	感染症の発生予防及びまん延防止に伴う試験検査	689	細菌部	感染症及び食中毒事例の分子疫学解析	418	ウイルス部	結核対策予防事業に伴う試験検査	98	細菌部	レジオネラ病防止に伴う試験検査	3,113	ウイルス部	犬の狂犬病検査	67	細菌部	化学物質に係る試験検査	47	細菌部	食中毒及び苦情食品に伴う試験検査	5	ウイルス部		依頼なし	理化学部		497	細菌部		332	ウイルス部		依頼なし	理化学部	A
試験項目	件数 (R3年度実績)	衛生研究所 担当部																																																																																																																
食肉の試験検査	依頼なし	細菌部																																																																																																																
農産物漬物の試験検査	依頼なし	細菌部																																																																																																																
輸入食品の試験検査	依頼なし	細菌部																																																																																																																
夏期及び年末食品一斉取締りに係る食品の試験検査	81	理化学部																																																																																																																
認定小規模食鳥処理場微生物検査	74	細菌部																																																																																																																
県内産魚介類の寄生虫検査	依頼なし	細菌部																																																																																																																
水道水質調査事業に伴う試験検査	10	細菌部																																																																																																																
感染症流行予測調査事業に伴う試験検査	674	ウイルス部																																																																																																																
蚊の生息状況調査	依頼なし	ウイルス部																																																																																																																
二枚貝中のノロウイルスの試験検査	依頼なし	ウイルス部																																																																																																																
県内流通医薬品等の試験検査	45	理化学部																																																																																																																
後発医薬品の試験検査	11	理化学部																																																																																																																
医療機器の試験検査	1	細菌部																																																																																																																
無承認無許可医薬品の試験検査	1	理化学部																																																																																																																
家庭用品の試買試験検査	依頼なし	理化学部																																																																																																																
指定薬物等の試験検査	150	理化学部																																																																																																																
食品の残留農薬試験検査	依頼なし	理化学部																																																																																																																
遺伝子組換え食品の試験検査	依頼なし	理化学部																																																																																																																
加工食品の放射性物質試験検査	依頼なし	理化学部																																																																																																																
イワンシ肉の放射性物質試験検査	依頼なし	理化学部																																																																																																																
水道水の放射性物質試験検査	87	理化学部																																																																																																																
試験項目	件数 (R2年度実績)	衛生研究所 担当部																																																																																																																
感染症法に基づく届出に伴う疾患の試験検査	50	細菌部																																																																																																																
感染症の発生の状況及び動向の把握に伴う試験検査	12,433	ウイルス部																																																																																																																
感染症の発生予防及びまん延防止に伴う試験検査	71	ウイルス部																																																																																																																
感染症の発生予防及びまん延防止に伴う試験検査	689	細菌部																																																																																																																
感染症及び食中毒事例の分子疫学解析	418	ウイルス部																																																																																																																
結核対策予防事業に伴う試験検査	98	細菌部																																																																																																																
レジオネラ病防止に伴う試験検査	3,113	ウイルス部																																																																																																																
犬の狂犬病検査	67	細菌部																																																																																																																
化学物質に係る試験検査	47	細菌部																																																																																																																
食中毒及び苦情食品に伴う試験検査	5	ウイルス部																																																																																																																
	依頼なし	理化学部																																																																																																																
	497	細菌部																																																																																																																
	332	ウイルス部																																																																																																																
	依頼なし	理化学部																																																																																																																
3) 研究成果等の活用促進	A ○質・量の両面において概ね令和3年度計画を達成 ○当所研究員が共著者として学術誌に掲載された。また、機関誌等への投稿、学会等での発表及びホームページに掲載することにより、積極的に成果の活用・普及促進に努めた。 【実績】学会・研修会での発表：8回 <table border="1" data-bbox="379 1733 1139 2033"> <thead> <tr> <th>発表題目</th> <th>学会・研修会等名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>茨城県における WU ホリオーマウイルスおよび KI ポリオマウイルスの検出状況</td><td>第95回日本感染症学会・学術講演会</td></tr> <tr><td>ヒトパレコウイルス3型カプシドタンパク質 VP0 に対するモノクローナル抗体の作製と応用</td><td>令和3年度関東・東京合同地区三学会</td></tr> <tr><td>茨城県で捕獲された野生動物における病原体保有状況</td><td>第36回日本環境感染学会総会・学術集会</td></tr> <tr><td>茨城県における SARS-CoV-2 の全ゲノム解析の活用について</td><td>関東甲信静支部ウイルス研究部会</td></tr> <tr><td>同一保健所管内における COVID-19 発生事例について</td><td>第70回 日本感染症学会東日本地方会学術集会</td></tr> <tr><td>柑橘類の残留農薬多成分一斉分析法に関する検討</td><td>第58回全国衛生化学技術協議会年會</td></tr> <tr><td>柑橘類の残留農薬多成分一斉分析法に関する検討</td><td>第32回茨城県薬剤師学術大会</td></tr> <tr><td>茨城県衛生研究所における SARS-CoV-2 の検査状況について</td><td>第80回日本公衆衛生学会</td></tr> </tbody> </table>	発表題目	学会・研修会等名	茨城県における WU ホリオーマウイルスおよび KI ポリオマウイルスの検出状況	第95回日本感染症学会・学術講演会	ヒトパレコウイルス3型カプシドタンパク質 VP0 に対するモノクローナル抗体の作製と応用	令和3年度関東・東京合同地区三学会	茨城県で捕獲された野生動物における病原体保有状況	第36回日本環境感染学会総会・学術集会	茨城県における SARS-CoV-2 の全ゲノム解析の活用について	関東甲信静支部ウイルス研究部会	同一保健所管内における COVID-19 発生事例について	第70回 日本感染症学会東日本地方会学術集会	柑橘類の残留農薬多成分一斉分析法に関する検討	第58回全国衛生化学技術協議会年會	柑橘類の残留農薬多成分一斉分析法に関する検討	第32回茨城県薬剤師学術大会	茨城県衛生研究所における SARS-CoV-2 の検査状況について	第80回日本公衆衛生学会	A	○質・量の両面において概ね令和3年度計画を達成																																																																																													
発表題目	学会・研修会等名																																																																																																																	
茨城県における WU ホリオーマウイルスおよび KI ポリオマウイルスの検出状況	第95回日本感染症学会・学術講演会																																																																																																																	
ヒトパレコウイルス3型カプシドタンパク質 VP0 に対するモノクローナル抗体の作製と応用	令和3年度関東・東京合同地区三学会																																																																																																																	
茨城県で捕獲された野生動物における病原体保有状況	第36回日本環境感染学会総会・学術集会																																																																																																																	
茨城県における SARS-CoV-2 の全ゲノム解析の活用について	関東甲信静支部ウイルス研究部会																																																																																																																	
同一保健所管内における COVID-19 発生事例について	第70回 日本感染症学会東日本地方会学術集会																																																																																																																	
柑橘類の残留農薬多成分一斉分析法に関する検討	第58回全国衛生化学技術協議会年會																																																																																																																	
柑橘類の残留農薬多成分一斉分析法に関する検討	第32回茨城県薬剤師学術大会																																																																																																																	
茨城県衛生研究所における SARS-CoV-2 の検査状況について	第80回日本公衆衛生学会																																																																																																																	

評価項目 (年度実施計画)	衛生研究所の自己評価		評価委員会評価																																																																		
	評価	計画達成の状況	評価	評価における特記事項																																																																	
		<p>【実績】学会誌等への投稿：6本</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">原著論文・機関誌等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Whole-Genome Sequencing of Shiga Toxin-Producing Escherichia coli OX18 from a Fatal Hemolytic Uremic Syndrome Case. Emerg Infect Dis. (共著) Kenichi Lee, corresponding author Atsushi Iguchi, Kazuhiro Uda, Sohshi Matsumura, Isao Miyairi, Kenji Ishikura, Makoto Ohnishi, Junji Seto, Kanako Ishikawa, Noriko Konishi, Hiromi Obata, Ichiro Furukawa, Hiromi Nagaoka, Hirota Morinushi, Natsuki Hama, Ryohei Nomoto, Hiroshi Nakajima, Hideaki Kariya, Mitsuhiko Hamasaki, and Sunao Iyoda. 2021 May</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Whole Genome Analysis Detects the Emergence of a Single Salmonella enterica Serovar Chester Clone in Japan's Kanto Region. Frontiers in Microbiology. (共著) Naoshi Ando I, Tsuyoshi Sekizuka, Eiji Yokoyama, Yoshiyuki Aihara, Noriko Konishi, Yuko Matsumoto, Kumiko Ishida, Koo Nagasawa, Nathalie Jourdan-Da Silva, Motoi Suzuki, Hirokazu Kimura, Simon Le Hello, Koichi Murakami, Makoto Kuroda, Shinichiro Hirai and Setsuko Fukaya. July 2021</td> <td></td> </tr> <tr> <td>A discernable increase in the severe acute respiratory syndrome coronavirus 2 R.1 lineage carrying an E484K spike protein mutation in Japan. Infection, Genetics and Evolution volume 94 (共著) Tsuyoshi Sekizuka, Kentaro Itokawa, Masanori Hashino, Kazuhiro Okubo, Asami Ohnishi, Keiko Goto, Hiroyuki Tsukagoshi, Hayato Ehara, Ryohei Nomoto, Makoto Ohnishi, Makoto Kuroda, Virus Diagnosis Group (NIDD Toyama), COVID-19 Genomic Surveillance Network in Japan (COG-JP). October 2021</td> <td></td> </tr> <tr> <td>新型コロナウイルス流行期に高齢者施設で発生した RSV-B の集団感染事例：病原微生物検出情報 (IASR) Vol.43, No.4 (No.506) 堀江育子 2022 年 4 月</td> <td></td> </tr> <tr> <td>柑橋類の残留農薬多成分一斉分析法に関する検討：令和3年度茨城県県立試験研究機関成果集 立原幹子 令和4年3月</td> <td></td> </tr> <tr> <td>茨城県におけるE型肝炎ウイルスの分子疫学解析：令和3年度茨城県県立試験研究機関成果集 櫻村諒 令和4年3月</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>○調査研究において習得した技術を、行政施策で活用した。 ・新型コロナウイルス(主にクラスター事例)の全ゲノム解析を行い、感染症対策に寄与した。</p>	原著論文・機関誌等		Whole-Genome Sequencing of Shiga Toxin-Producing Escherichia coli OX18 from a Fatal Hemolytic Uremic Syndrome Case. Emerg Infect Dis. (共著) Kenichi Lee, corresponding author Atsushi Iguchi, Kazuhiro Uda, Sohshi Matsumura, Isao Miyairi, Kenji Ishikura, Makoto Ohnishi, Junji Seto, Kanako Ishikawa, Noriko Konishi, Hiromi Obata, Ichiro Furukawa, Hiromi Nagaoka, Hirota Morinushi, Natsuki Hama, Ryohei Nomoto, Hiroshi Nakajima, Hideaki Kariya, Mitsuhiko Hamasaki, and Sunao Iyoda. 2021 May		Whole Genome Analysis Detects the Emergence of a Single Salmonella enterica Serovar Chester Clone in Japan's Kanto Region. Frontiers in Microbiology. (共著) Naoshi Ando I, Tsuyoshi Sekizuka, Eiji Yokoyama, Yoshiyuki Aihara, Noriko Konishi, Yuko Matsumoto, Kumiko Ishida, Koo Nagasawa, Nathalie Jourdan-Da Silva, Motoi Suzuki, Hirokazu Kimura, Simon Le Hello, Koichi Murakami, Makoto Kuroda, Shinichiro Hirai and Setsuko Fukaya. July 2021		A discernable increase in the severe acute respiratory syndrome coronavirus 2 R.1 lineage carrying an E484K spike protein mutation in Japan. Infection, Genetics and Evolution volume 94 (共著) Tsuyoshi Sekizuka, Kentaro Itokawa, Masanori Hashino, Kazuhiro Okubo, Asami Ohnishi, Keiko Goto, Hiroyuki Tsukagoshi, Hayato Ehara, Ryohei Nomoto, Makoto Ohnishi, Makoto Kuroda, Virus Diagnosis Group (NIDD Toyama), COVID-19 Genomic Surveillance Network in Japan (COG-JP). October 2021		新型コロナウイルス流行期に高齢者施設で発生した RSV-B の集団感染事例：病原微生物検出情報 (IASR) Vol.43, No.4 (No.506) 堀江育子 2022 年 4 月		柑橋類の残留農薬多成分一斉分析法に関する検討：令和3年度茨城県県立試験研究機関成果集 立原幹子 令和4年3月		茨城県におけるE型肝炎ウイルスの分子疫学解析：令和3年度茨城県県立試験研究機関成果集 櫻村諒 令和4年3月																																																						
原著論文・機関誌等																																																																					
Whole-Genome Sequencing of Shiga Toxin-Producing Escherichia coli OX18 from a Fatal Hemolytic Uremic Syndrome Case. Emerg Infect Dis. (共著) Kenichi Lee, corresponding author Atsushi Iguchi, Kazuhiro Uda, Sohshi Matsumura, Isao Miyairi, Kenji Ishikura, Makoto Ohnishi, Junji Seto, Kanako Ishikawa, Noriko Konishi, Hiromi Obata, Ichiro Furukawa, Hiromi Nagaoka, Hirota Morinushi, Natsuki Hama, Ryohei Nomoto, Hiroshi Nakajima, Hideaki Kariya, Mitsuhiko Hamasaki, and Sunao Iyoda. 2021 May																																																																					
Whole Genome Analysis Detects the Emergence of a Single Salmonella enterica Serovar Chester Clone in Japan's Kanto Region. Frontiers in Microbiology. (共著) Naoshi Ando I, Tsuyoshi Sekizuka, Eiji Yokoyama, Yoshiyuki Aihara, Noriko Konishi, Yuko Matsumoto, Kumiko Ishida, Koo Nagasawa, Nathalie Jourdan-Da Silva, Motoi Suzuki, Hirokazu Kimura, Simon Le Hello, Koichi Murakami, Makoto Kuroda, Shinichiro Hirai and Setsuko Fukaya. July 2021																																																																					
A discernable increase in the severe acute respiratory syndrome coronavirus 2 R.1 lineage carrying an E484K spike protein mutation in Japan. Infection, Genetics and Evolution volume 94 (共著) Tsuyoshi Sekizuka, Kentaro Itokawa, Masanori Hashino, Kazuhiro Okubo, Asami Ohnishi, Keiko Goto, Hiroyuki Tsukagoshi, Hayato Ehara, Ryohei Nomoto, Makoto Ohnishi, Makoto Kuroda, Virus Diagnosis Group (NIDD Toyama), COVID-19 Genomic Surveillance Network in Japan (COG-JP). October 2021																																																																					
新型コロナウイルス流行期に高齢者施設で発生した RSV-B の集団感染事例：病原微生物検出情報 (IASR) Vol.43, No.4 (No.506) 堀江育子 2022 年 4 月																																																																					
柑橋類の残留農薬多成分一斉分析法に関する検討：令和3年度茨城県県立試験研究機関成果集 立原幹子 令和4年3月																																																																					
茨城県におけるE型肝炎ウイルスの分子疫学解析：令和3年度茨城県県立試験研究機関成果集 櫻村諒 令和4年3月																																																																					
4) 広報・情報発信・普及啓発	AA	<p>○質・量の両面において目標を超えた優れたパフォーマンスを実現</p> <p>(1) 感染症情報センター</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感染症発生動向調査事業に基づき、感染症の情報を日々収集・解析し、週報及び月報としてホームページに掲載し、情報提供を行った。 ・県内で日本紅斑熱の発生が立て続けに確認されたため、医療機関に対して情報提供を行った。県民に対しては、ホームページの掲載、ポスター掲示により注意喚起を行った。 ・当所及び水戸市保健所における新型コロナウイルス検査実施状況について、ホームページで県民等へ情報提供し、毎週更新した。 ・なお、感染症情報センターへは月約 3000~8000 アクセスされており、県民ニーズの高さがうかがえた。 ・県民から新型コロナウイルス感染症に関して寄せられた多数の相談に対して、電話やメール等で最新知見を情報提供した。また、ホームページで関連情報を広く提供した。 <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページ掲載公衆衛生情報：203回 (県民への注意喚起：4回、流行情報(月報・週報等)76回、新型コロナウイルス検査実施状況：123回) <table border="1"> <thead> <tr> <th>月</th> <th>掲載タイトル</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>7月</td> <td>・RSウイルス感染症について(3回)</td> </tr> <tr> <td>9月</td> <td>・ダニ媒介感染症について</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 県民意識の醸成 (2)-1 県民等への情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉団体等を対象に出前講座や研修会を開催した。 ・健康プラザでパネルを展示し、県民に分かりやすく啓発した。 ・一般県民向けの当研究所業務紹介パンフレットを活用し、広報した。 <p>【実績】出前講座・研修会：11回</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>出前講座・研修会名</th> <th>依頼者</th> <th>場所</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新型コロナウイルス感染対策について</td> <td>昭和電工マテリアルズ労働組合 下館支部</td> <td>筑西市</td> <td>24</td> </tr> <tr> <td>家庭での食中毒対策について</td> <td>認定NPO法人水戸こどもの劇場</td> <td>Web</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>新型コロナウイルス感染対策について</td> <td>笠間市社会福祉協議会</td> <td>笠間市</td> <td>17</td> </tr> <tr> <td>感染症の基礎と予防方法について</td> <td>那珂市社会福祉協議会</td> <td>那珂市</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>新型コロナウイルス感染対策について</td> <td>笠間市社会福祉協議会</td> <td>笠間市</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>感染症の基礎と予防方法について</td> <td>茨城県特別支援学校養護教諭連絡協議会</td> <td>結城市</td> <td>44</td> </tr> <tr> <td>感染症の基礎と予防方法について</td> <td>茨城県図書館協会</td> <td>水戸市</td> <td>60</td> </tr> <tr> <td>感染症の基礎と予防方法について</td> <td>国土地理院</td> <td>Web</td> <td>44</td> </tr> <tr> <td>感染症の基礎と予防方法について</td> <td>水戸市シルバー人材センター</td> <td>Web</td> <td>19</td> </tr> <tr> <td>①食中毒と予防方法 ②新型コロナウイルスの感染予防</td> <td>茨城県社会福祉協議会</td> <td>Web</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>感染症の基礎と予防方法について</td> <td>公益財団法人茨城県スポーツ協会</td> <td>水戸市</td> <td>26</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・パネル展示：8テーマ <table border="1"> <thead> <tr> <th>タイトル</th> <th>展示場所・イベント等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ダニ媒介感染症に注意しましょう</td> <td rowspan="8">健康プラザ</td> </tr> <tr> <td>インフルエンザ</td> </tr> <tr> <td>植物性自然毒について</td> </tr> <tr> <td>抗菌薬を正しく理解し、正しく服用しよう!</td> </tr> <tr> <td>生肉を調理するときの注意点</td> </tr> <tr> <td>RSウイルス感染症について</td> </tr> <tr> <td>違法な健康食品に注意!</td> </tr> <tr> <td>カンピロバクター食中毒について</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2)-2 薬剤耐性対策の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県民向け啓発ポスターを追加配付。 	月	掲載タイトル	7月	・RSウイルス感染症について(3回)	9月	・ダニ媒介感染症について	出前講座・研修会名	依頼者	場所	参加者数	新型コロナウイルス感染対策について	昭和電工マテリアルズ労働組合 下館支部	筑西市	24	家庭での食中毒対策について	認定NPO法人水戸こどもの劇場	Web	7	新型コロナウイルス感染対策について	笠間市社会福祉協議会	笠間市	17	感染症の基礎と予防方法について	那珂市社会福祉協議会	那珂市	13	新型コロナウイルス感染対策について	笠間市社会福祉協議会	笠間市	11	感染症の基礎と予防方法について	茨城県特別支援学校養護教諭連絡協議会	結城市	44	感染症の基礎と予防方法について	茨城県図書館協会	水戸市	60	感染症の基礎と予防方法について	国土地理院	Web	44	感染症の基礎と予防方法について	水戸市シルバー人材センター	Web	19	①食中毒と予防方法 ②新型コロナウイルスの感染予防	茨城県社会福祉協議会	Web	100	感染症の基礎と予防方法について	公益財団法人茨城県スポーツ協会	水戸市	26	タイトル	展示場所・イベント等	ダニ媒介感染症に注意しましょう	健康プラザ	インフルエンザ	植物性自然毒について	抗菌薬を正しく理解し、正しく服用しよう!	生肉を調理するときの注意点	RSウイルス感染症について	違法な健康食品に注意!	カンピロバクター食中毒について	AA	○質・量の両面において目標を超えた優れたパフォーマンスを実現
月	掲載タイトル																																																																				
7月	・RSウイルス感染症について(3回)																																																																				
9月	・ダニ媒介感染症について																																																																				
出前講座・研修会名	依頼者	場所	参加者数																																																																		
新型コロナウイルス感染対策について	昭和電工マテリアルズ労働組合 下館支部	筑西市	24																																																																		
家庭での食中毒対策について	認定NPO法人水戸こどもの劇場	Web	7																																																																		
新型コロナウイルス感染対策について	笠間市社会福祉協議会	笠間市	17																																																																		
感染症の基礎と予防方法について	那珂市社会福祉協議会	那珂市	13																																																																		
新型コロナウイルス感染対策について	笠間市社会福祉協議会	笠間市	11																																																																		
感染症の基礎と予防方法について	茨城県特別支援学校養護教諭連絡協議会	結城市	44																																																																		
感染症の基礎と予防方法について	茨城県図書館協会	水戸市	60																																																																		
感染症の基礎と予防方法について	国土地理院	Web	44																																																																		
感染症の基礎と予防方法について	水戸市シルバー人材センター	Web	19																																																																		
①食中毒と予防方法 ②新型コロナウイルスの感染予防	茨城県社会福祉協議会	Web	100																																																																		
感染症の基礎と予防方法について	公益財団法人茨城県スポーツ協会	水戸市	26																																																																		
タイトル	展示場所・イベント等																																																																				
ダニ媒介感染症に注意しましょう	健康プラザ																																																																				
インフルエンザ																																																																					
植物性自然毒について																																																																					
抗菌薬を正しく理解し、正しく服用しよう!																																																																					
生肉を調理するときの注意点																																																																					
RSウイルス感染症について																																																																					
違法な健康食品に注意!																																																																					
カンピロバクター食中毒について																																																																					

【様式 7】整理表（項目別評価）

茨城県衛生研究所

評価項目 (年度実施計画)	衛生研究所の自己評価		評価委員会評価																												
	評価	計画達成の状況	評価	評価における特記事項																											
		<ul style="list-style-type: none"> 啓発アニメーション動画「STOP! AMR」の作成・配信。 県報掲載。 県公式 Twitter で投稿。 NHK データ放送。 ラジオ番組放送。 健康プラザにおいてパネルの展示。 薬剤耐性 (AMR) ワンヘルスプラットフォームのリニューアル (都道府県別ウェブサイトの新設) に協力した。 県内医師を対象とした、薬剤耐性に関するアンケートを実施し、薬剤耐性に対する意識度や普及啓発方法に対する調査を行った。 薬剤耐性菌による感染症 (特に CRE 感染症) の発生状況をまとめてホームページに掲載した。 <p>【実績】普及啓発活動：10件/年</p>																													
5) 外部人材育成、教育活動	A	<p>○質・量の両面において概ね令和3年度計画を達成</p> <p>○外部講師を招聘して「新型コロナウイルス研修会」等を開催するとともに研修内容を関係機関に伝達し、専門的知識及び最新の情報を提供した。</p> <p>【実績】保健所等への専門的研修会：5回</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>研修会・講座名</th> <th>対象者等</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和3年度新規採用養護教諭研修講座</td> <td>新規採用養護教諭</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>食品添加物検査研修</td> <td>水戸市保健所職員</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>令和3年度茨城県核酸増幅法 (PCR 検査等) 検査体制強化研修会</td> <td>県内の臨床検査技師</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>遺伝子組み換え食品検査研修</td> <td>水戸市保健所職員</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>新型コロナ感染症勉強会</td> <td>保健所職員等</td> <td>20</td> </tr> </tbody> </table> <p>【実績】学生等への教育活動：2回</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>研修会・講座名</th> <th>対象者等</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医学生の社会医学実習</td> <td>筑波大学医学群医学類 4年</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>茨城県庁インターンシップ</td> <td>東京薬科大学、星薬科大学、東邦大学</td> <td>6</td> </tr> </tbody> </table>	研修会・講座名	対象者等	参加者数	令和3年度新規採用養護教諭研修講座	新規採用養護教諭	40	食品添加物検査研修	水戸市保健所職員	2	令和3年度茨城県核酸増幅法 (PCR 検査等) 検査体制強化研修会	県内の臨床検査技師	18	遺伝子組み換え食品検査研修	水戸市保健所職員	2	新型コロナ感染症勉強会	保健所職員等	20	研修会・講座名	対象者等	参加者数	医学生の社会医学実習	筑波大学医学群医学類 4年	7	茨城県庁インターンシップ	東京薬科大学、星薬科大学、東邦大学	6	A	○質・量の両面において概ね令和3年度計画を達成
研修会・講座名	対象者等	参加者数																													
令和3年度新規採用養護教諭研修講座	新規採用養護教諭	40																													
食品添加物検査研修	水戸市保健所職員	2																													
令和3年度茨城県核酸増幅法 (PCR 検査等) 検査体制強化研修会	県内の臨床検査技師	18																													
遺伝子組み換え食品検査研修	水戸市保健所職員	2																													
新型コロナ感染症勉強会	保健所職員等	20																													
研修会・講座名	対象者等	参加者数																													
医学生の社会医学実習	筑波大学医学群医学類 4年	7																													
茨城県庁インターンシップ	東京薬科大学、星薬科大学、東邦大学	6																													

【様式 7】整理表（項目別評価）

茨城県衛生研究所

評価項目 (年度実施計画)	衛生研究所の自己評価		評価委員会評価	
	評価	計画達成の状況	評価	評価における特記事項
ii) 業務の質的向上・効率化のため	A	<p>○質・量の両面において概ね令和3年度計画を達成</p> <p>(1) 検査機器の整備等</p> <p>○更新計画の見直しを行うとともに、計画に基づき機器整備を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> パルスフィールド電気泳動装置、遺伝子解析装置、恒温水槽、冷蔵ショーケース、ふ卵器、インキュベーター、バイオフリーザー、分光光度計、シェイカー等 <p>(2) 品質保証体制の整備</p> <p>医薬品 PIC/S に係る体制の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> 試験検査 SOP (アムロジピンベシル酸塩口腔内崩壊錠定量試験・崩壊試験、フロセミド錠定量試験、リカルボン錠、ボノテオ錠溶出試験、ミノドロロン酸錠溶出試験)、機器保守 SOP (高速液体クロマトグラフ保守管理) を追加制定した。 <p>食品 GLP に係る検査体制の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> 標準作業書 (食品添加物 (合成保存料)) を改訂した。 感染症法に係る検査体制の整備 感染症法に係る病原体検査の信頼性確保のため、例年、本庁 (感染症対策課) の内部監査を受けているが、新型コロナウイルス感染症に係る業務多忙により中止となった。 <p>(3) 病原体等の安全管理の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> 内部査察を年1回実施し、結果を委員会で報告した。 <p>(4) 業務の進捗状況管理、情報共有及び評価委員会による評価</p> <p>ア 業務の進捗状況管理、情報共有について</p> <ul style="list-style-type: none"> 月2回開催する所内部部長会議や、随時行う各部内ミーティングで情報共有し、業務等の進捗管理を行った。 月2回、3部共同の感染症ミーティングを行い、感染症及び食中毒に係る情報共有・意見交換を行った。 <p>イ 評価委員会による評価について</p> <ul style="list-style-type: none"> 外部評価として、機関評価委員会を7/2 (Web 会議) に開催した。 機関評価委員会における評価指摘事項をもとに、業務の見直し改善を行った。 調査研究では、完了報告2題、中間報告4題、新規研究1題について評価を受け、研究成果の普及や調査研究事業計画の見直し等に反映させた。 	A	○質・量の両面において概ね令和3年度計画を達成

評価項目 (年度実施計画)	衛生研究所の自己評価				評価委員会評価																																																						
	評価	計画達成の状況			評価	評価における特記事項																																																					
2) 他機関との連携、 調査研究費の獲得	AA	<p>○質・量の両面において目標を超えた優れたパフォーマンスを実現</p> <p>調査研究業務の活性化及び試験検査の突発的な対応等に備えた体制の構築・強化に努めた。</p> <p>○調査研究に係る研究機関等との連携 群馬パース大学大学院等との共同研究5題、研究協力7題を行った。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>研究区分</th> <th>研究テーマ(研究代表者等)</th> <th>連携機関</th> <th>期間(年度)</th> <th>担当部</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="7">共同研究</td> <td>野生動物における人獣共通感染症の網羅的病原体解析に関する試験研究(衛生研究所 後藤慶子)</td> <td>群馬パース大学大学院保健科学研究科(木村博一)</td> <td>H30~R4</td> <td>ウイルス部</td> </tr> <tr> <td>茨城県における薬剤耐性菌の分子疫学解析に関する試験研究(旧題名:茨城県内におけるカルバペネム耐性菌等の実態調査に関する研究)(衛生研究所 伊師拓哉)</td> <td>国立感染症研究所 県立中央病院 日立総合病院 JAとりで総合医療センター 県立医療大学付属病院 土浦協同病院 筑波メディカルセンター-病院</td> <td>R1~R8</td> <td>細菌部</td> </tr> <tr> <td>核酸認証標準物質を用いた PCR 検査の精度管理システムについての実証研究(衛生研究所 後藤慶子、大澤修一)</td> <td>産業技術総合研究所</td> <td>R2~R3</td> <td>ウイルス部</td> </tr> <tr> <td>ゲノム高次構造解析を基盤とする新型コロナウイルスの病原性解析に関する試験研究(衛生研究所 後藤慶子)</td> <td>群馬パース大学大学院保健科学研究科(木村博一)</td> <td>R2~R4</td> <td>ウイルス部</td> </tr> <tr> <td>茨城県内におけるリケッチア保有マダニの浸潤状況の解明(衛生研究所 大澤修一)</td> <td>筑波大学附属病院感染症科(喜安嘉彦)</td> <td>R2~R7</td> <td>ウイルス部</td> </tr> <tr> <td>環境 AMR モニタリング調査(黒田誠):環境中における薬剤耐性菌及び抗微生物剤の調査法の確立のための研究</td> <td>国立感染症研究所 病原体ゲノム解析研究センター</td> <td>H30~R6</td> <td>細菌部</td> </tr> <tr> <td>病原体ゲノムを基盤とした病原体検索システムの利活用に係る研究(黒田誠)木村班</td> <td rowspan="6">国立感染症研究所 感染症疫学センター 国立感染症研究所 ウイルス第二部</td> <td>R1~R3</td> <td>ウイルス部</td> </tr> <tr> <td>ウイルス性下痢症の網羅的分子疫学・流行予測ならびに不顕性感染実態解明に関する研究(村上光一)木村班</td> <td>R2~R4</td> <td>ウイルス部</td> </tr> <tr> <td>新興・再興エンテロウイルス感染症の検査・診断・治療・予防法の開発に向けた研究(清水博之)猿木班</td> <td>R1~R3</td> <td>ウイルス部</td> </tr> <tr> <td>国内流行ムンプスウイルスの分子疫学的解析に関する研究(加藤大志)</td> <td>国立感染症研究所 ウイルス第三部</td> <td>R3~R5</td> <td>ウイルス部</td> </tr> <tr> <td>腸管出血性大腸菌 O157 菌株を中心とした分子疫学解析と精度管理(横山敬子)</td> <td>東京都健康安全研究センター 微生物部</td> <td>R3~R5</td> <td>細菌部</td> </tr> <tr> <td>CRE 感染症の臨床的疫学的解析(鈴木里和): 薬剤耐性菌のサーベイランス強化および薬剤耐性菌の総合的な対策に資する研究</td> <td>国立感染症研究所 薬剤耐性研究センター</td> <td>R3~R5</td> <td>細菌部</td> </tr> </tbody> </table>				研究区分	研究テーマ(研究代表者等)	連携機関	期間(年度)	担当部	共同研究	野生動物における人獣共通感染症の網羅的病原体解析に関する試験研究(衛生研究所 後藤慶子)	群馬パース大学大学院保健科学研究科(木村博一)	H30~R4	ウイルス部	茨城県における薬剤耐性菌の分子疫学解析に関する試験研究(旧題名:茨城県内におけるカルバペネム耐性菌等の実態調査に関する研究)(衛生研究所 伊師拓哉)	国立感染症研究所 県立中央病院 日立総合病院 JAとりで総合医療センター 県立医療大学付属病院 土浦協同病院 筑波メディカルセンター-病院	R1~R8	細菌部	核酸認証標準物質を用いた PCR 検査の精度管理システムについての実証研究(衛生研究所 後藤慶子、大澤修一)	産業技術総合研究所	R2~R3	ウイルス部	ゲノム高次構造解析を基盤とする新型コロナウイルスの病原性解析に関する試験研究(衛生研究所 後藤慶子)	群馬パース大学大学院保健科学研究科(木村博一)	R2~R4	ウイルス部	茨城県内におけるリケッチア保有マダニの浸潤状況の解明(衛生研究所 大澤修一)	筑波大学附属病院感染症科(喜安嘉彦)	R2~R7	ウイルス部	環境 AMR モニタリング調査(黒田誠):環境中における薬剤耐性菌及び抗微生物剤の調査法の確立のための研究	国立感染症研究所 病原体ゲノム解析研究センター	H30~R6	細菌部	病原体ゲノムを基盤とした病原体検索システムの利活用に係る研究(黒田誠)木村班	国立感染症研究所 感染症疫学センター 国立感染症研究所 ウイルス第二部	R1~R3	ウイルス部	ウイルス性下痢症の網羅的分子疫学・流行予測ならびに不顕性感染実態解明に関する研究(村上光一)木村班	R2~R4	ウイルス部	新興・再興エンテロウイルス感染症の検査・診断・治療・予防法の開発に向けた研究(清水博之)猿木班	R1~R3	ウイルス部	国内流行ムンプスウイルスの分子疫学的解析に関する研究(加藤大志)	国立感染症研究所 ウイルス第三部	R3~R5	ウイルス部	腸管出血性大腸菌 O157 菌株を中心とした分子疫学解析と精度管理(横山敬子)	東京都健康安全研究センター 微生物部	R3~R5	細菌部	CRE 感染症の臨床的疫学的解析(鈴木里和): 薬剤耐性菌のサーベイランス強化および薬剤耐性菌の総合的な対策に資する研究	国立感染症研究所 薬剤耐性研究センター	R3~R5	細菌部	AA	○質・量の両面において目標を超えた優れたパフォーマンスを実現
		研究区分	研究テーマ(研究代表者等)	連携機関	期間(年度)	担当部																																																					
共同研究	野生動物における人獣共通感染症の網羅的病原体解析に関する試験研究(衛生研究所 後藤慶子)	群馬パース大学大学院保健科学研究科(木村博一)	H30~R4	ウイルス部																																																							
	茨城県における薬剤耐性菌の分子疫学解析に関する試験研究(旧題名:茨城県内におけるカルバペネム耐性菌等の実態調査に関する研究)(衛生研究所 伊師拓哉)	国立感染症研究所 県立中央病院 日立総合病院 JAとりで総合医療センター 県立医療大学付属病院 土浦協同病院 筑波メディカルセンター-病院	R1~R8	細菌部																																																							
	核酸認証標準物質を用いた PCR 検査の精度管理システムについての実証研究(衛生研究所 後藤慶子、大澤修一)	産業技術総合研究所	R2~R3	ウイルス部																																																							
	ゲノム高次構造解析を基盤とする新型コロナウイルスの病原性解析に関する試験研究(衛生研究所 後藤慶子)	群馬パース大学大学院保健科学研究科(木村博一)	R2~R4	ウイルス部																																																							
	茨城県内におけるリケッチア保有マダニの浸潤状況の解明(衛生研究所 大澤修一)	筑波大学附属病院感染症科(喜安嘉彦)	R2~R7	ウイルス部																																																							
	環境 AMR モニタリング調査(黒田誠):環境中における薬剤耐性菌及び抗微生物剤の調査法の確立のための研究	国立感染症研究所 病原体ゲノム解析研究センター	H30~R6	細菌部																																																							
	病原体ゲノムを基盤とした病原体検索システムの利活用に係る研究(黒田誠)木村班	国立感染症研究所 感染症疫学センター 国立感染症研究所 ウイルス第二部	R1~R3	ウイルス部																																																							
ウイルス性下痢症の網羅的分子疫学・流行予測ならびに不顕性感染実態解明に関する研究(村上光一)木村班	R2~R4		ウイルス部																																																								
新興・再興エンテロウイルス感染症の検査・診断・治療・予防法の開発に向けた研究(清水博之)猿木班	R1~R3		ウイルス部																																																								
国内流行ムンプスウイルスの分子疫学的解析に関する研究(加藤大志)	国立感染症研究所 ウイルス第三部		R3~R5	ウイルス部																																																							
腸管出血性大腸菌 O157 菌株を中心とした分子疫学解析と精度管理(横山敬子)	東京都健康安全研究センター 微生物部		R3~R5	細菌部																																																							
CRE 感染症の臨床的疫学的解析(鈴木里和): 薬剤耐性菌のサーベイランス強化および薬剤耐性菌の総合的な対策に資する研究	国立感染症研究所 薬剤耐性研究センター		R3~R5	細菌部																																																							
3) 県民ニーズの把握	A	<p>○質・量の両面において概ね令和3年度計画を達成</p> <p>いばらき予防医学プラザ(県立健康プラザ、中央保健所、精神保健福祉センター及び衛生研究所)及び水戸市保健所による業績発表会を開催し、調査研究等事業内容の相互理解と県民ニーズの把握充実に努めた。</p> <p>・出前講座や研修会でアンケート調査を実施し、県民ニーズの把握に努めた。</p> <p>・茨城県薬剤耐性対策推進会議の委員と本県の AMR 対策活動について議論し、現場ニーズを把握した。</p> <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関係機関等との意見交換会の実施:5回 ・食品衛生担当者会議(書面会議) ・薬事担当者会議(書面会議) ・業績発表会(2月) ・茨城県薬剤耐性対策推進会議(Web 開催2回:7月、3月) ・茨城県公衆衛生行政連絡会議(2回:6月、3月) ・出前講座・研修会等:11回(再掲) 			A	○質・量の両面において概ね令和3年度計画を達成																																																					

評価項目 (年度実施計画)	衛生研究所の自己評価		評価委員会評価	
	評価	計画達成の状況	評価	評価における特記事項
4) 内部人材 育成	AA	<p>○質・量の両面において目標を超えた優れたパフォーマンスを実現</p> <p>(1) 研修・交流機会の確保 新型コロナウイルス感染症の影響で制限がある中、研修会情報の収集に努め、WEB開催、現地開催ともに積極的に参加した。また、参加者は、研修内容について伝達講習を行い、職場全体の資質向上に努めた。 (主な研修会) ○技術研修 次世代シーケンサー技術研修会、薬剤耐性菌検査、新興再興感染症技術研修、検査能力向上講習会、地方衛生研究所全国協議会技術講習会、貝毒分析研修会、LC-MS/MS 研修会、GC-MS/MS 研修会 等</p> <p>○学会 日本感染症学会、日本感染症学会東日本地方会、日本公衆衛生学会、国際結核セミナー、日本食品微生物学会、トラベラーズワクチンフォーラム研修会、茨城県薬剤師学術大会、日本臨床ウイルス学会等</p> <p>○地方衛生研究所全国協議会 全国衛生化学技術協議会 等</p> <p>(2) 所内研修及び伝達講習 所内各部署で内部研修を実施し、研鑽できる環境整備に努めた。また、若手研究員に対しては、確実に業務を遂行できるよう専属のトレーナーを配置し、計画検査や行政依頼検査に先立ち、年間を通じた実務研修(OJT)を実施した。 また、研修会・学会等の参加者が伝達講習を行い、情報共有した。 【実績】 ○外部専門家を招聘した研修会 3回 ・「海外における保健医療活動～感染症対策、特にHIVを中心に～」 茨城県保健福祉部 感染症情報分析・療養者支援アドバイザー 前 WHO 西太平洋地域事務局 HIV・肝炎・性感染症課コーディネーター 石川尚子 先生 ・「新型コロナウイルス感染症について～これまでとこれから～」 川崎市健康安全研究所長 岡部信彦 先生 ・「科学捜査研究所の業務及び理化学検査について」 茨城県警察本部科学捜査研究所職員</p> <p>○研究者倫理に関する研修会等 1回 ・新任・復帰研究職員対象所内研修</p> <p>○業績発表会 1回（演題数：16）</p> <p>(3) 精度管理事業の実施及び参加（結果はすべて適合） (主な外部精度管理) ○厚生労働省が実施する感染症病原体外部精度管理事業 インフルエンザウイルス 6検体、チフス菌・パラチフスA菌 3検体 ○厚生労働省が実施する感染症病原体外部精度管理事業コロナウイルスの次世代シーケンシング(NGS)による遺伝子の読解解析 3検体、新型コロナウイルス核酸検出検査 6検体 ○厚生労働省が実施する医薬品試験の精度管理事業クロラムフェニコール 1検体 ○地方衛生研究所全国協議会関東甲信静支部が実施する精度管理（有毒植物） 1検体 ○（一財）食品薬品安全センターが実施する食品衛生外部精度管理調査（E.coli、一般細菌数、黄色ブドウ球菌、サルモネラ属菌、大腸菌群、食品添加物、残留農薬） 11検体 ○厚生労働科学研究（新興再興感染症及び予防接種政策推進研究事業）「食品由来感染症の病原体の解析手法及び共有化システムの構築のための研究」腸管出血性大腸菌 4検体 ○2021年度厚労科研究費「国内のサーベイランスに資する機能的なラボネットワークの強化に関する研究」分担研究「抗酸菌型別分析における制度保証」結核菌 5検体</p> <p>内部精度管理 ○試験検査前に、随時実施した。</p>	AA	○質・量の両面において目標を超えた優れたパフォーマンスを実現